



議員活動通信

日田市議会議員
なかしま章二



2期目スタート！

日田市議会議員2期目をスタートさせていただきました。1期4年間の経験を活かし、日田市政発展のためにしっかりと皆様の声を聞かせていただき、その声を届けていきます。

よろしく願いたします。

令和5年 第1回（5月）臨時会

日田市議会 三役及び各委員会の構成（令和5年～6年）

	総務環境委員会	教育福祉委員会	産業建設委員会
委員長	井上正一郎	中島章二	坂本茂
副委員長	高倉貴子	今井美保	居川太城
	石橋邦彦	日隈知重	大谷敏彰
	溝口千壽	坂本盛男	原田裕文
委員	岩見泉哉	松野勝美	梶原信幸
	梅原竜也	財津幹雄	宮崎陽治
	佐藤孝彰	崎尾亮介	中原晴剛

三 役	
議長	三 苦 誠
副議長	松野勝美
監査委員	梅原竜也

令和5年第1回臨時会が、5月16日（火）午前10時から開かれ、議長・副議長選挙や各委員会委員・監査委員等の選任が行われました。

令和5年 第2回（6月）定例会



発生しないように、申請に対するチェック機能を強化することをあわせて要望しました。

食費等の物価高騰に直面し、その影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円の「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給する事業です。この事業については広報ひた6月15日号に掲載されており、対象世帯は申請が必須です。このため、丁寧な事業周知はもちろんのこと、各課が相互に情報共有し、給付漏れがないよう、プッシュ型の給付体制の構築を要請しました。また、入力ミス等が

令和5年度 4月補正予算（専決）

子育て世帯生活支援特別給付事業

（一億一千万七千円）

令和5年度6月補正予算

令和5年度日田市一般会計補正予算(第2号)は、歳入・歳出の総額で、8億3285万2千円が追加されました。その結果、補正後予算総額は382億953万4千円となっています。提案された9議案と報告9件、請願2件については、すべて採択・承認されました。

【歳出】

畜産飼料高騰特別支援事業
(3785万4千円)

飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家を支援するため、配合



令和5年度6月補正予算概要

当初予算額	37,264,505 千円
現予算額	37,376,682 千円
今回の補正額	832,852 千円
補正後の予算額	38,209,534 千円

(参考) 令和4年度6月 補正後予算額
37,957,360 千円

飼料や粗飼料の購入費を補助する事業です。飼料代の高止まりはまだまだ続いており、廃業を検討する畜産農家もあります。また、本事業の対象者は、配合飼料価格安定制度に加入している畜産農家と限定されているため、他の畜産農家に対する支援策をこれとは別に検討するなど、事業者一人ひとりに寄り添ったきめ細かな助言や経営相談を行うよう要望しました。

地域消費喚起。プレミアム商品券

支援事業(3億4900万円)

燃料の高騰・物価の上昇等の影響により、厳しい状況にある地域経済の消費拡大や活性化を図るため、プレミアム率30%の商品券を発行する事業です。

今回は、紙商品券・電子商品券あわせて13億円分の発行を予定しています。使用期間は令和5年10月1日から令和6年1月31日と計画されています。

住民税非課税世帯等に対する物価高騰重点支援給付金給付事業

(2億7339万9千円)

エネルギー・食料品価格等の高騰による家計の負担増を踏まえ、特定の世帯(住民税非課税世帯、均等割のみ課税世帯、家計急変世帯)に対し、一世帯当たり3万円を給付するものです。事業実施にあたっては、給付漏れのないよう、プッシュ型の給付体制を構築するとともに、申請に対するチェック機能の強化を要望しました。



学校給食運営事業

(2655万9千円)

物価の上昇は学校給食の賄材料費にも影響を与えています。この事業は、これまでどおりの栄養バランスを保った給食を提供するために、物価上昇分を補い、保護者の経済的負担を軽減するものです。

物価高騰に対する支援策については、本市だけの対応にとどまらず、国策として責任を持って対策を講じるよう、国に対して引き続き強く求めることを要望しました。



6月議会 一般質問と答弁

日田市総合保健福祉センター（ウェルピア）について

【中島】 健康寿命延伸のために、総合保健福祉センター「ウェルピア」を積極的に活用している方も多し。そういう方々から「健康増進施設として再開すること」や「今後の運営の方向性」について声を聞いているのか伺う。

【福祉保健部長】 早急に利用者の声を伺う必要があるということで準備し、意見を聞きとれるように対応したいと考えている。



中島の視点

利用している市民の方々の声や、費用対効果を見極めながら、健康寿命を延ばす健康づくりに役立つ市の施設として、ウェルピアの在り方をしっかり考えていく必要があると考えます。

【中島】 「市民の健康を増進する施設」として、市はウェルピアの機能や運営をどのように考えていくのか伺う。



【福祉保健部長】 プールやトレーニング室を備えたウェルピアは、健康増進に有効な施設であると認識している。一方で、建設から30年近く経っているこの施設を維持・改修していくためには、施設の性質柄、多額な費用も伴う。公共施設等管理計画の中では、「民間移管も意識しながら」としており、複合的な課題を抱えていることも事実であるため、健康増進とのバランスや今後の市としての方針も重ねながら検討していきたい。

手話言語条例について

【中島】 日田市では手話サークルあさぎりが活動を続けている。「手話が言語である」その理解を進めるために、市民協働で活動していく必要性があり、効果も上がるのではないかと考えているが、市の考えを伺う。

【福祉保健部長】 今年度、あさぎりの皆さんと一緒に、「実際に手話を使う方々」、「支援をしている方々」と市と一緒に、どういう取組が必要なのかを考える協議の場を計画している。

その協議から市民協働で、手話言語条例に対しての理解が深まるような取組に進めばと考えている。

【中島】 ろう者の皆さんの立場としても、一般就労ができることが「安心して暮らせるまちづくり」につながるのではないかと思うが、一般事業所等に対する手話の周知・啓発について、市の取組について伺う。

【福祉保健部長】 ふれあい宅配講座において、「障がいって何？聞こえない人の暮らし」などで、理解を深めるメニューを準備している。昨年度は、1社ではあるものの、就労に伴い2回ほどこの講座を利用して積極的に取り組んでいただいている事業所もあった。市としては、今後も啓発に努めていきたい。



中島の視点

「誰もが暮らしやすいまち」として、障がいの有無にかかわらず生活できる環境が必要だと私は考えます。ろう者の自立と社会参加の推進のために、福祉サービスの充実がこれまで以上に必要ではないかと思ひます。



日田市の不登校児童生徒の現状について

【中島】 日田市における不登校児童生徒の現状について伺う。

【教育長】 小中学校での不登校児童生徒数は、全国と同様に市や県においても、直近の5年間は連続して増加している。

日田市における不登校児童生徒数の推移

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
小学生	14	18	27	39	30
中学生	38	40	43	57	99
合計	52	58	70	96	129



中島の視点

不登校児童生徒が増えつつある現在、教職員にとって学校での働き方はさらに厳しい状況になっているのではないかと思います。担任や養護教諭の先生に、不登校への対応を一任するという方向性でよいのか？不登校児童生徒に対して、専門的に対応できる人的配置が必要であると考えます。

【中島】 不登校だった生徒が中学卒業後、ひきこもりになってしまう場合が考えられる。若者への支援体制が必要性和考えるが、市教委としての考えを伺う。

【教育長】 中学卒業時に進学先の学校と情報共有を行うなど、丁寧な引き継ぎを行っている。中学卒業後は、高校や専門学校等が行う指導の範疇となったり、また、社会人としての対応となるため、市教委は指導や支援ができる立場ではないが、中学卒業後の指導体制構築の必要性は承知している。

■ 請願について ■

令和5年6月定例会において、市民クラブからの請願2件は、全会一致で採択されました。

- 「ゆたかな学びの実現と教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充政府予算に係る意見書」の提出を求める請願
- 「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める請願

令和5年梅雨前線大雨による災害

7月の記録的な大雨により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、早期復旧に向けてご尽力いただいているボランティアをはじめ多くの関係者の皆様、そして業務にあたられている職員の皆様に感謝申し上げます。

私たち日田市議会は、委員会ごとに被災状況の確認を行い、1日も早い復旧・復興ができるよう、活動してまいります。

私も、復旧ボランティア活動に取り組みながら、「発災時に命を守ることでできる日田市づくり」に取り組んでいきます。



発行：日田市議会議員 中島 章二

〒877-0006 大分県日田市港町 8-64 携帯電話 090-8412-9143

